

大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する 医療施設等アンケート調査報告書（概要）

調査概要

在宅医療・介護連携推進事業において、既存データで把握できない項目についての情報収集を行うため、医療と介護の連携の上での課題整理と事業評価の基礎資料となる医療側に着目したアンケート調査を実施

調査方法

対象施設に、調査票【施設票】、【個人票】を送付し、返信用封筒による郵送、FAX、Webのいずれかの方法で平成30年2月から3月まで期間において回答依頼

回収結果・調査対象

対象施設	対象数	回収数	有効回答数	有効回答数／対象数
病院	180	117	117	65.0%
在宅療養支援診療所	678	448	438	64.6%
在宅療養支援歯科診療所	367	271	269	73.3%
在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局	1,439	1,028	1,026	71.3%
訪問看護ステーション	325	225	223	68.6%
合計	2,989	2,089	2,073	69.4%

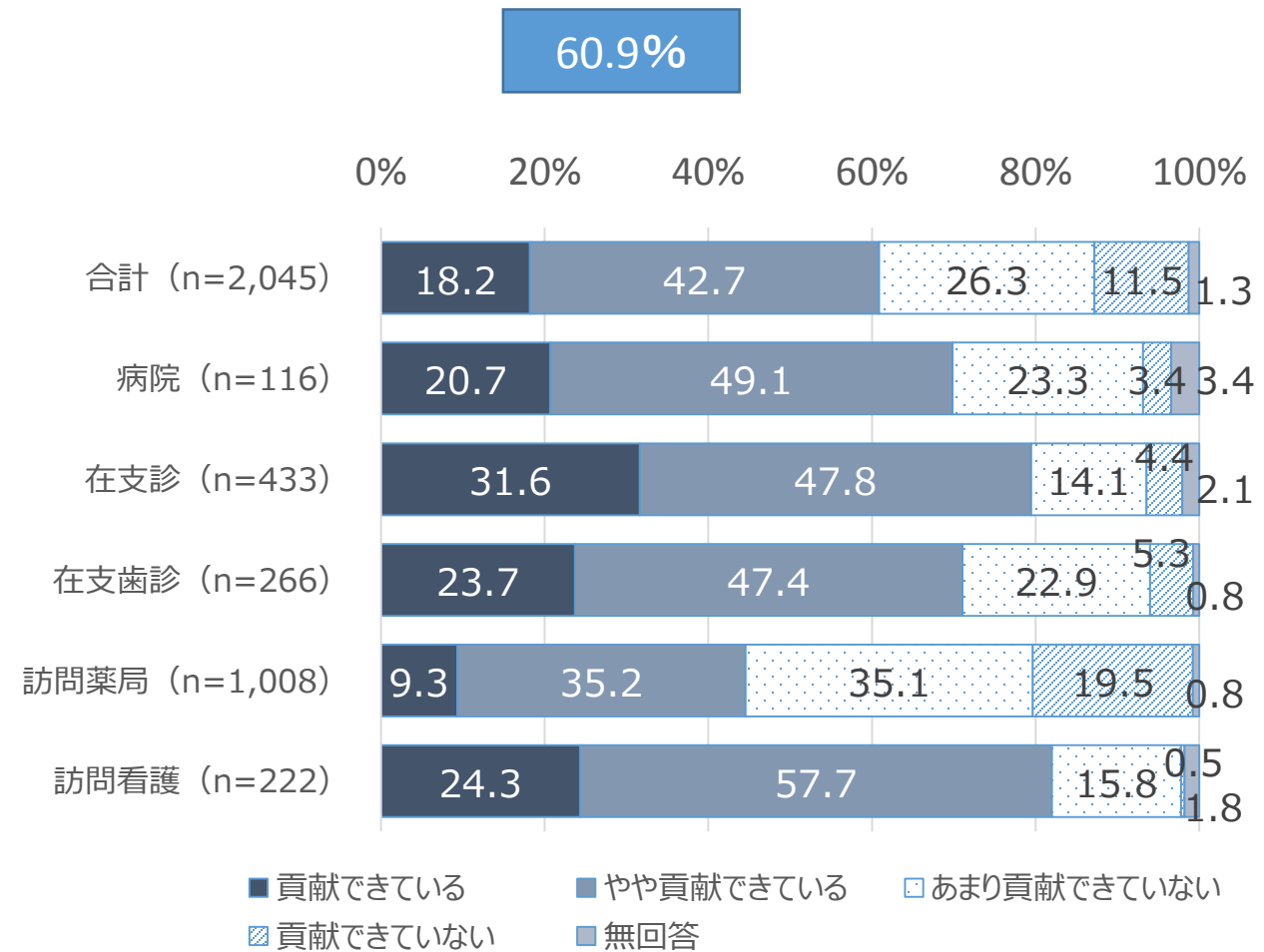
調査結果

①アウトカム指標

貢献度

あなたの施設（事業所）は、地域の在宅医療の推進に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

⇒ 『貢献できている』『やや貢献できている』の割合



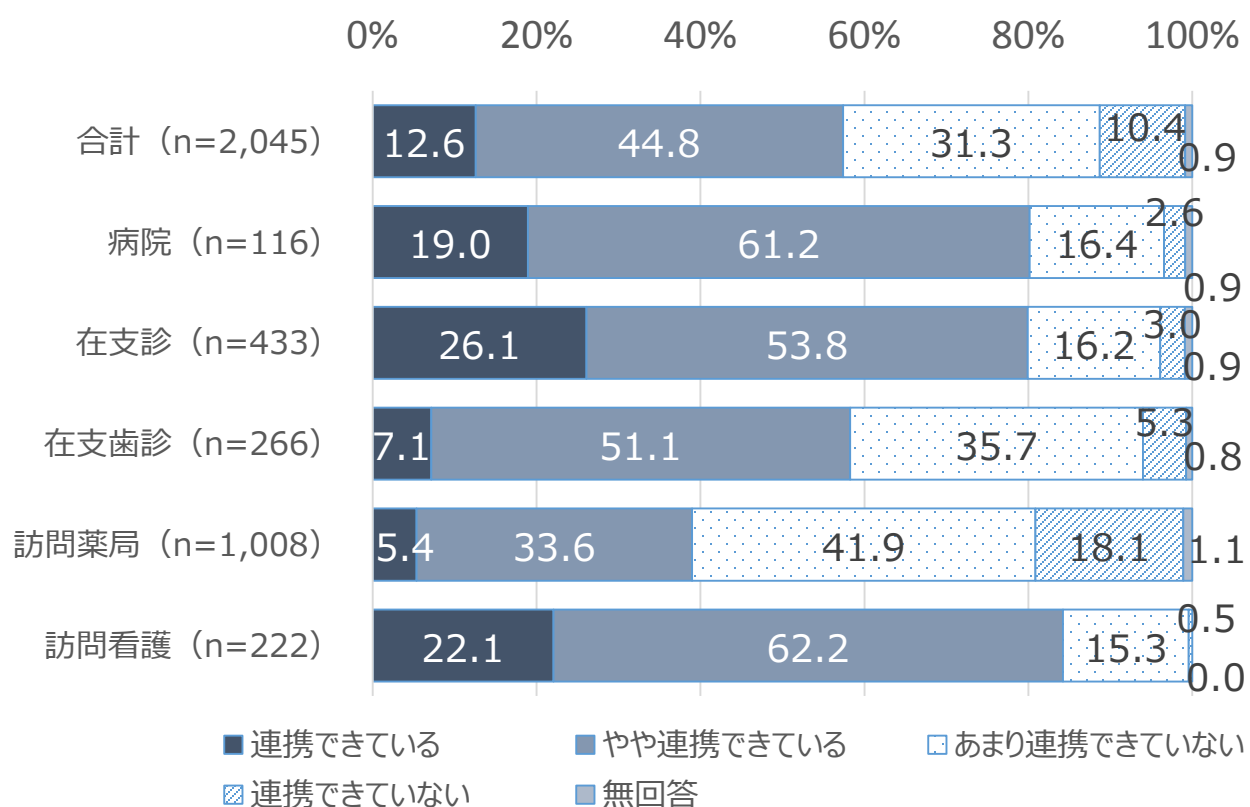
・施設全体では約6割、在支診と訪問看護は約8割、病院と在支歯診は約7割、訪問薬局は5割未満

連携度

あなたの施設は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。

⇒ 『連携できている』 『やや連携できている』 の割合

57.4%



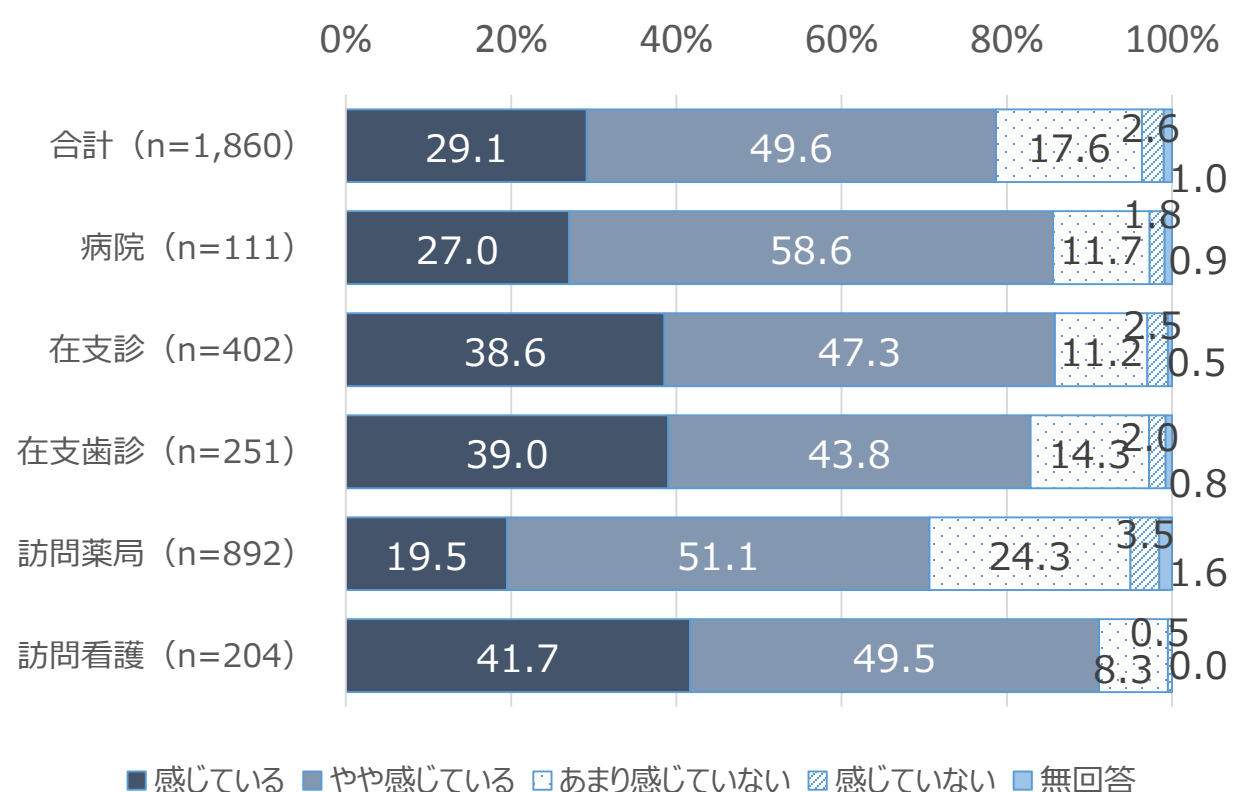
・施設全体では6割弱、病院と在支診、訪問看護は約8割、在支歯診は約6割、訪問薬局は約4割

満足度

ご自身の仕事に満足感を感じていますか

⇒ 『感じている』 『やや感じている』 の割合

78.7%



・全体では約8割、回答者別としては訪問看護では約9割、病院、在支診、在支歯診では約8割、訪問薬局では約7割。

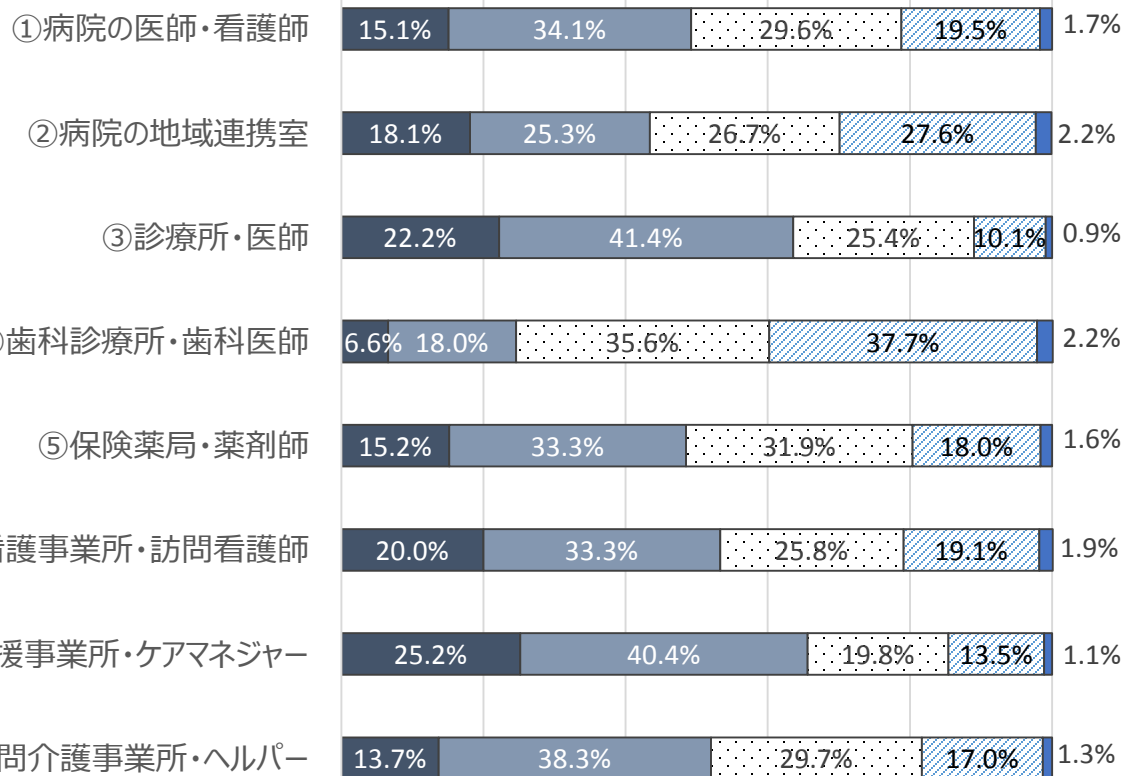
連携度

職種・機関別連携度

あなたの施設（事業所）は、地域の他職種・他機関と、それぞれ、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。

全体 (n=2045)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 連携できている ■ やや連携できている □ あまり連携できていない ▨ 連携できていない ■ 無回答

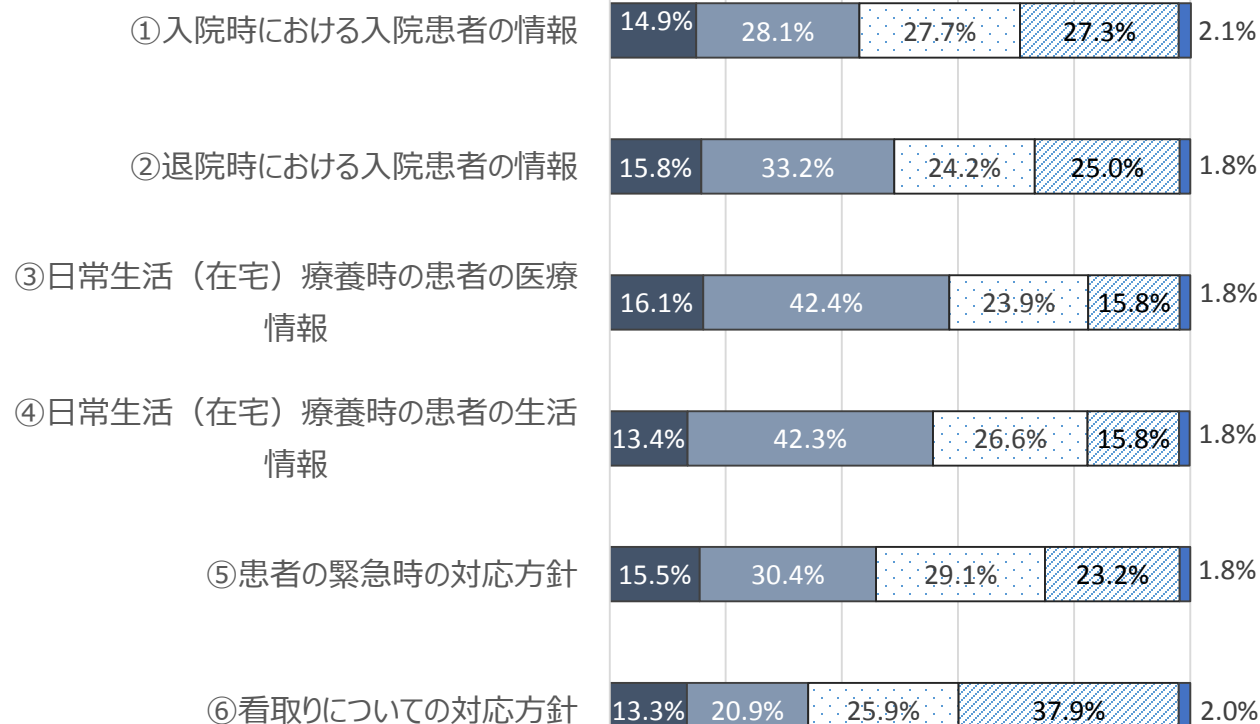
・「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」、「診療所・医師」、「訪問看護事業所・訪問看護師」「訪問介護事業所・ヘルパー」の順

療養場面別連携度

あなたの施設（事業所）は、患者の在宅療養における各場面において、地域の他職種・機関とどのくらい各種情報についての意見交換・共有ができていると思いますか。

全体(n=2045)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



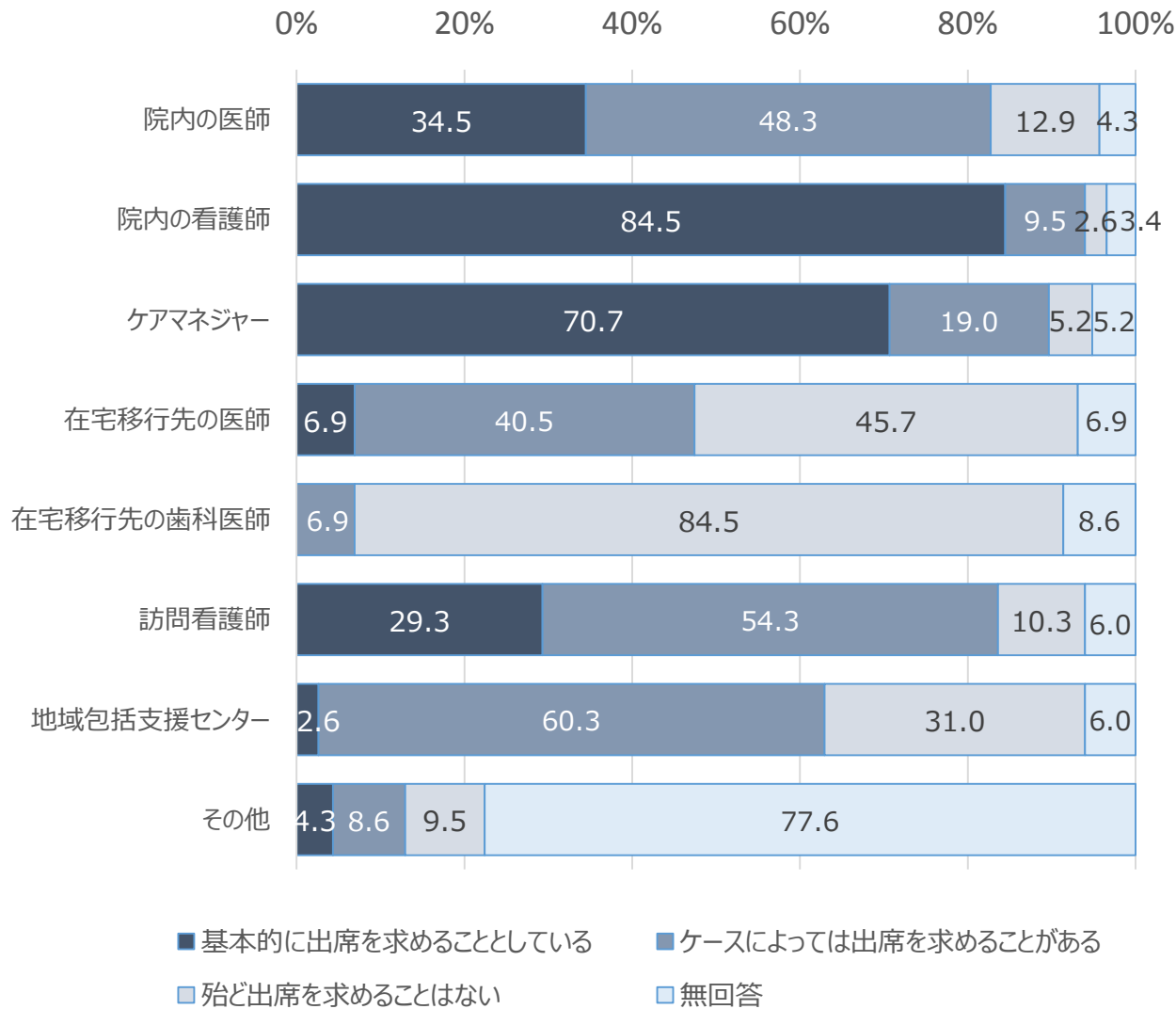
■ 共有等できている ■ やや共有等できている □ あまり共有等できていない ▨ 共有等できていない ■ 無回答

・「共有できている」「やや共有できている」を合わせた割合は、「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」の順
 ・「看取りについての対応方針」が最も低い

②プロセス指標

退院前カンファレンス

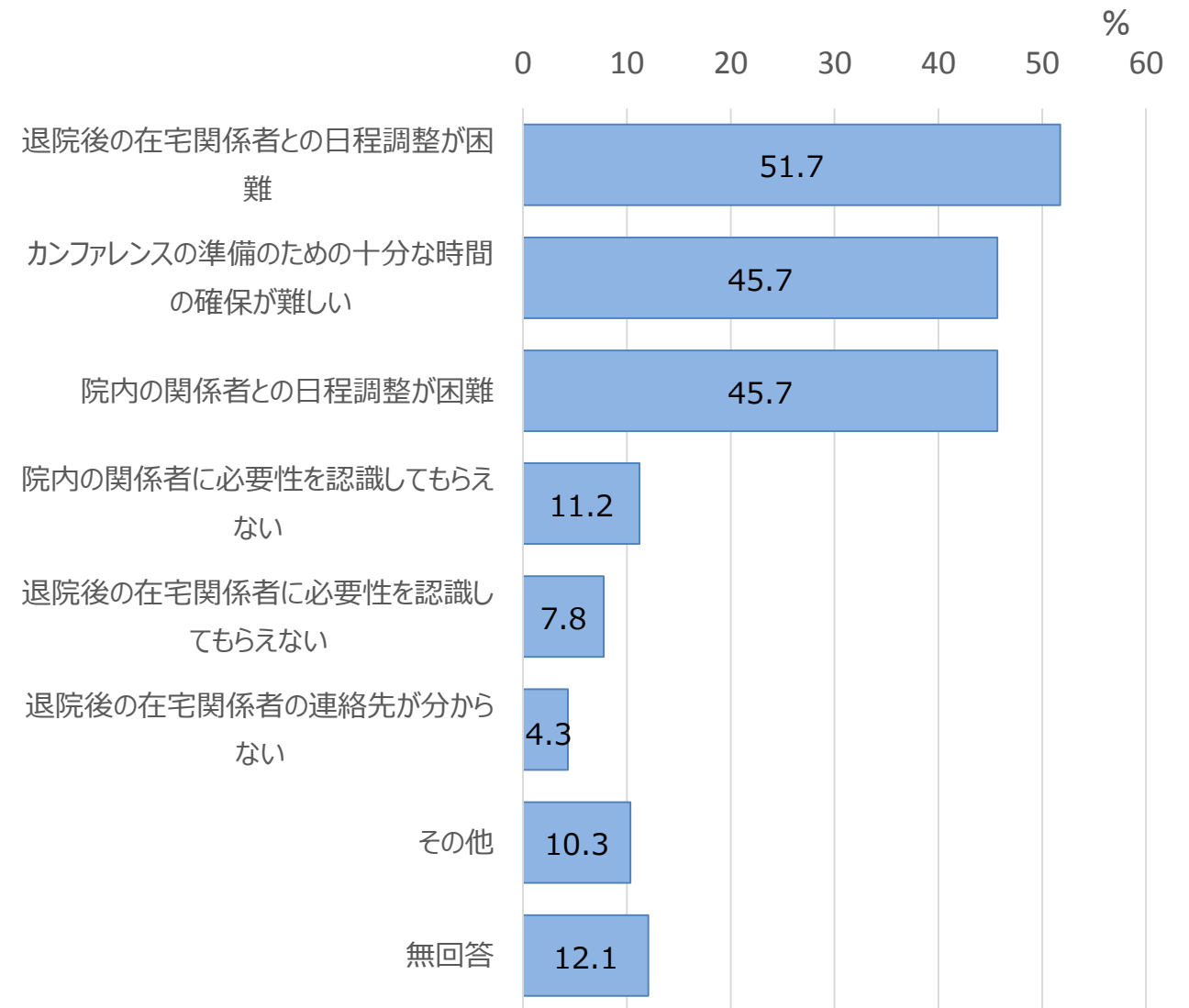
病院における退院前カンファレンスにおける各職種への出席要請方針



- 「基本的に」もしくは「ケースによって」出席を求めている割合は院内の看護師、ケアマネジャー、訪問看護師、院内の医師の順
- 地域連携のための部署を設置している病院は78.4%

病院における退院カンファレンスの課題

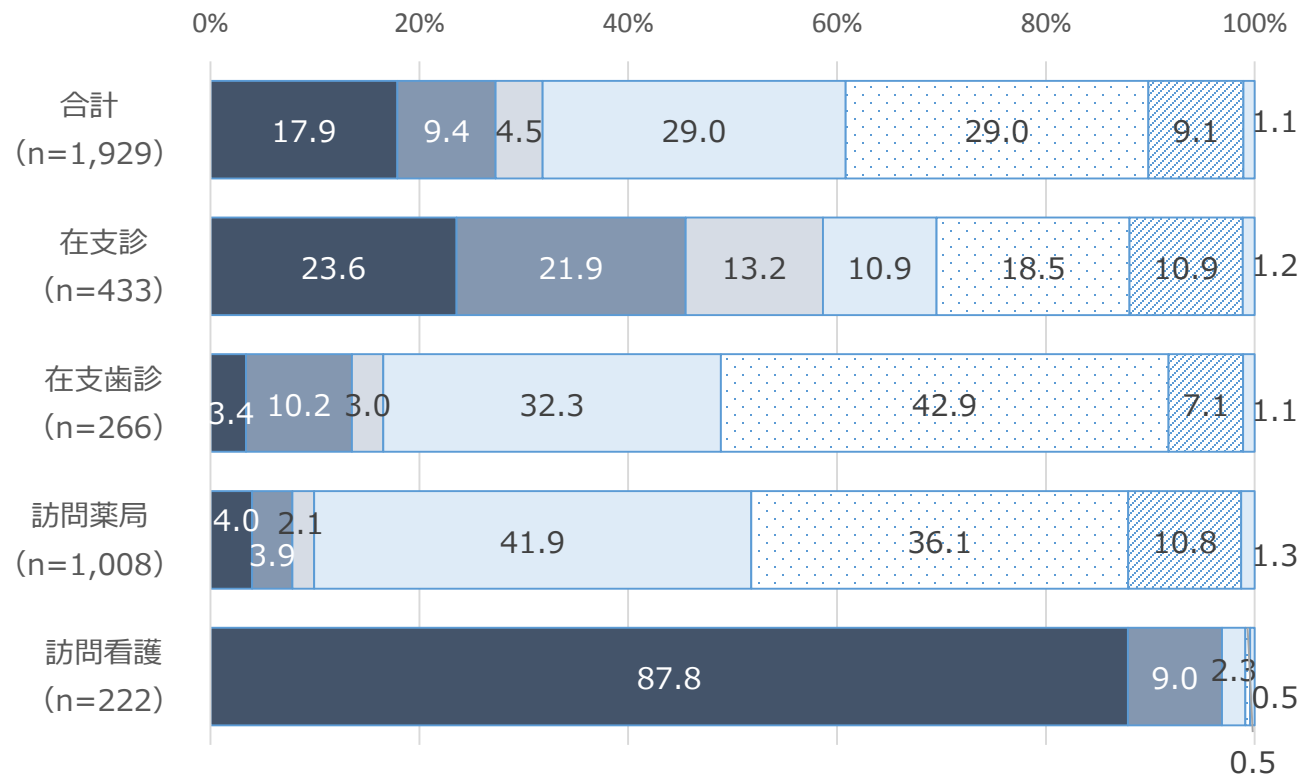
複数回答



- 「退院後の在宅関係者との日程調整が困難」が最も高く、次いで「カンファレンスの準備のための十分な時間の確保が難しい」と「院内の関係者との日程調整が困難」。

退院前カンファレンス

病院からの退院前カンファレンスへの出席要請有無

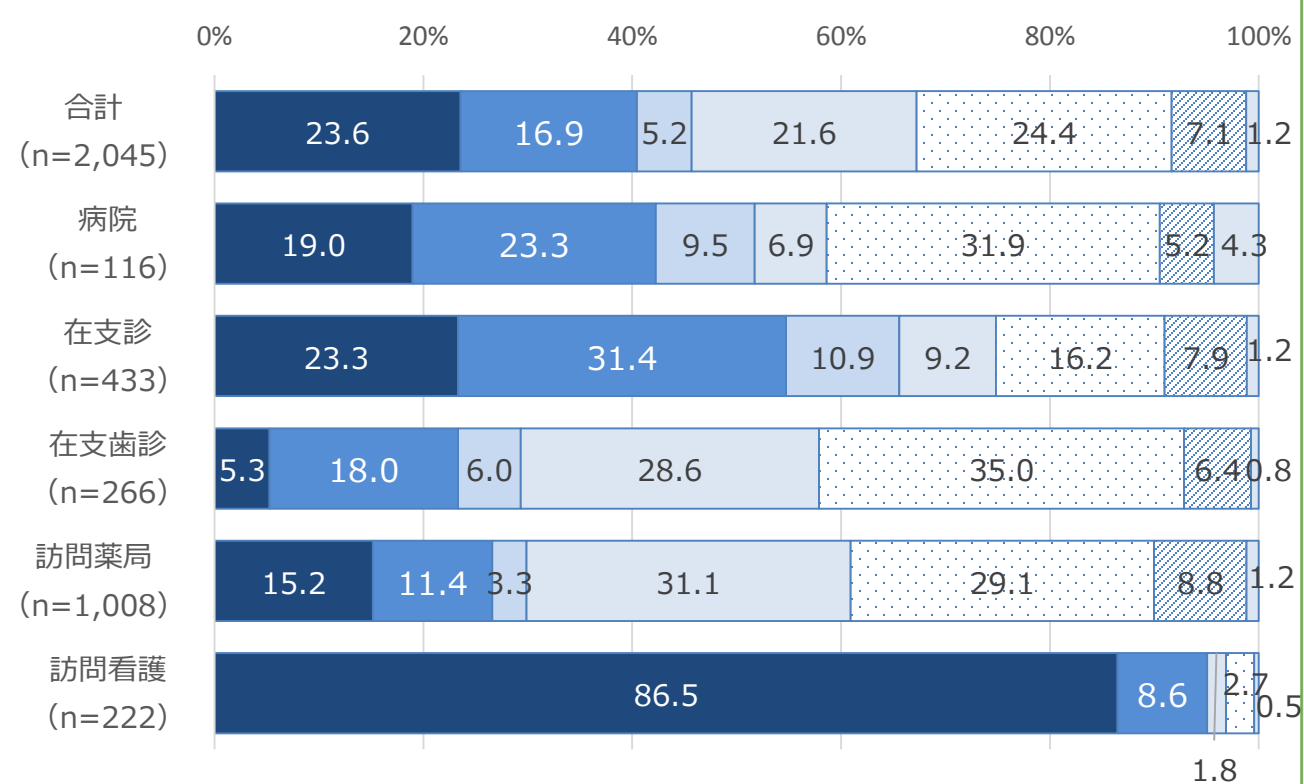


- (これまで要請されたことがある) 基本的に出席している
- (これまで要請されたことがある) ケースによっては出席している
- (これまで要請されたことがある) 出席は困難である
- (これまで要請されたことがない) 要請されれば基本的に出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されればケースによっては出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されても出席は困難である
- 無回答

・出席を要請された経験がある施設（病院以外）は、施設全体では約3割
 ・出席要請の有無に関わらず、出席の意向が見られるのは施設全体では8割強

サービス担当者会議

ケアマネジャーからのサービス担当者会議への出席要請有無



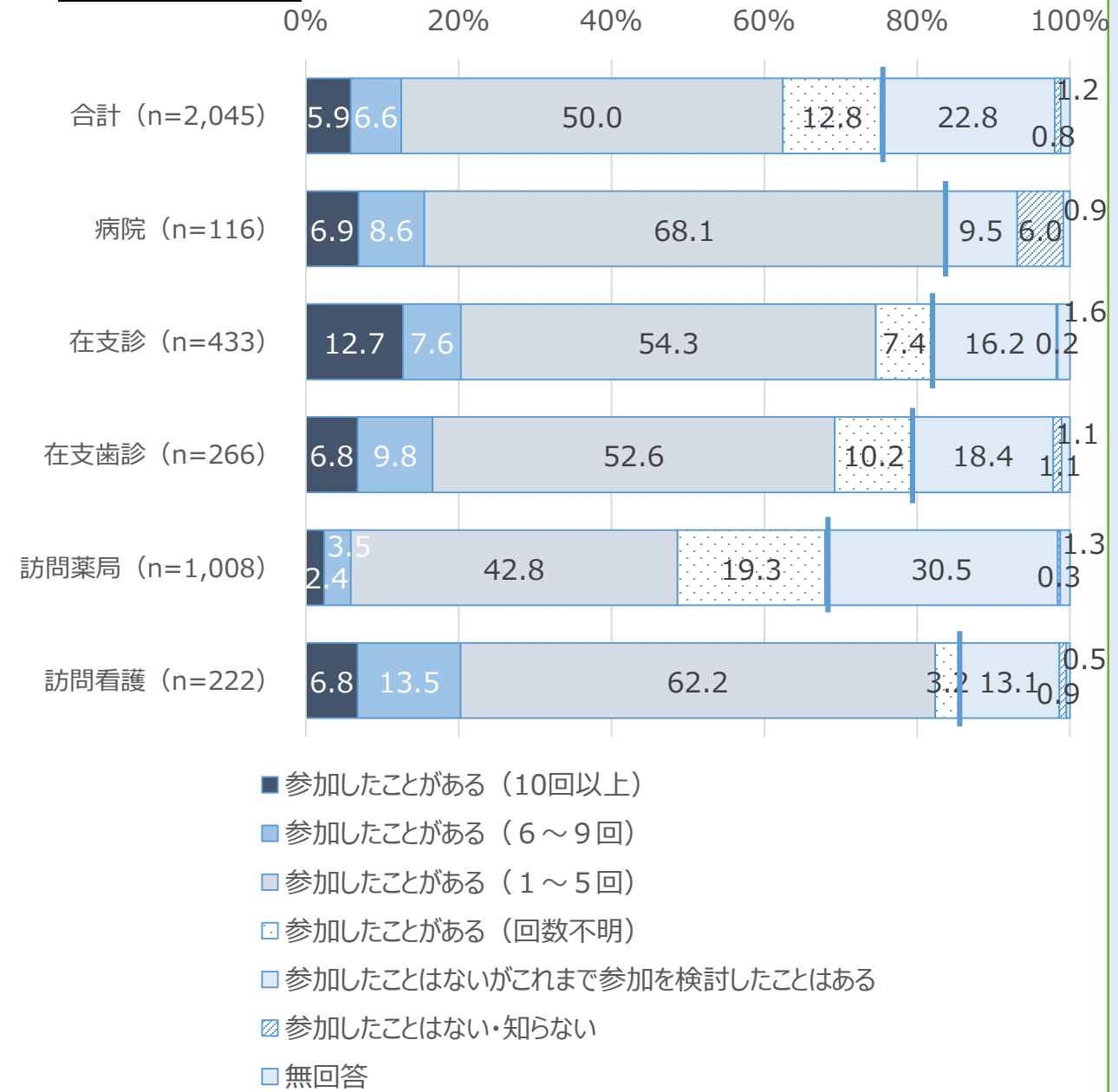
- (これまで要請されたことがある) 基本的に出席している
- (これまで要請されたことがある) ケースによっては出席している
- (これまで要請されたことがある) 出席は困難である
- (これまで要請されたことがない) 要請されれば基本的に出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されればケースによっては出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されても出席は困難である
- 無回答

・出席を要請された経験がある施設は、施設全体では4割強
 ・出席要請の有無に関わらず、出席の意向が見られるのは施設全体では8割強

③連携推進の課題

多職種研修会

市や医師会等開催の在宅医療・介護の多職種研修会等への参加の有無



・「参加したことがある」が3/4
 ・参加経験がある施設の中では2/3が1～5回の参加、10回以上も1割弱程度。

在宅医療・介護連携の推進に必要なこと

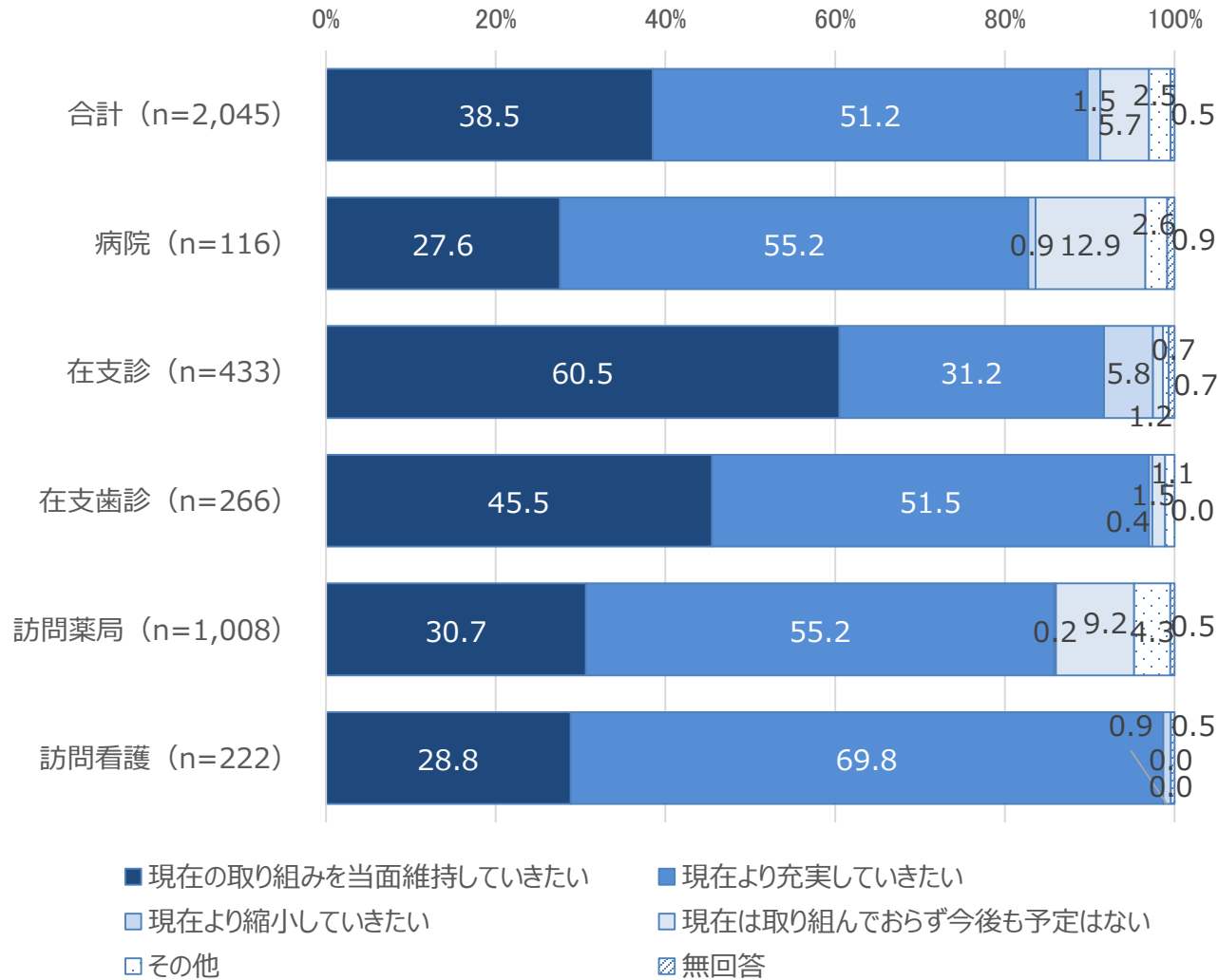
在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること

	合計	病院	在支診	在支歯診	薬局	訪問看護
1. 連携で困ったときに相談できる窓口	814 (39.8)	41 (35.3)	168 (38.8)	98 (36.8)	418 (41.5)	89 (40.1)
2. 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発	764 (37.4)	34 (29.3)	132 (30.5)	111 (41.7)	400 (39.7)	87 (39.2)
3. 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場	696 (34.0)	51 (44.0)	111 (25.6)	59 (22.2)	365 (36.2)	110 (49.5)
4. 関係機関のリスト・連絡先等の提供	654 (32.0)	44 (37.9)	136 (31.4)	82 (30.8)	348 (34.5)	44 (19.8)
5. 各施設・職種の役割について理解を深める機会	488 (23.9)	30 (25.9)	66 (15.2)	52 (19.5)	275 (27.3)	65 (29.3)
6. 診療報酬・介護報酬の評価 (増額)	448 (21.9)	24 (20.7)	141 (32.6)	62 (23.3)	167 (16.6)	54 (24.3)
7. 情報共有ツール (シート等) の統一	435 (21.3)	27 (23.3)	60 (13.9)	48 (18.0)	252 (25.0)	48 (21.6)
8. 医療側のための介護知識の習得・向上の機会	334 (16.3)	20 (17.2)	54 (12.5)	54 (20.3)	182 (18.1)	24 (10.8)
9. 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)	311 (15.2)	10 (8.6)	133 (30.7)	25 (9.4)	109 (10.8)	34 (15.3)
10. 介護側のための医療知識の習得・向上の機会	267 (13.1)	21 (18.1)	68 (15.7)	63 (23.7)	67 (6.6)	48 (21.6)
11. 在宅医療にかかる施設基準の緩和	243 (11.9)	13 (11.2)	78 (18.0)	49 (18.4)	89 (8.8)	14 (6.3)
12. その他	52 (2.5)	1 (0.9)	11 (2.5)	12 (4.5)	24 (2.4)	4 (1.8)
13. 特にない	46 (2.2)	1 (0.9)	10 (2.3)	4 (1.5)	30 (3.0)	1 (0.5)
14. 無回答	23 (1.1)	2 (1.7)	1 (0.2)	3 (1.1)	15 (1.5)	2 (0.9)
回答施設数	2,045	116	433	266	1,008	222

・施設全体では、「連携で困ったときに相談できる窓口」、「患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」の順

在宅医療の今後の意向

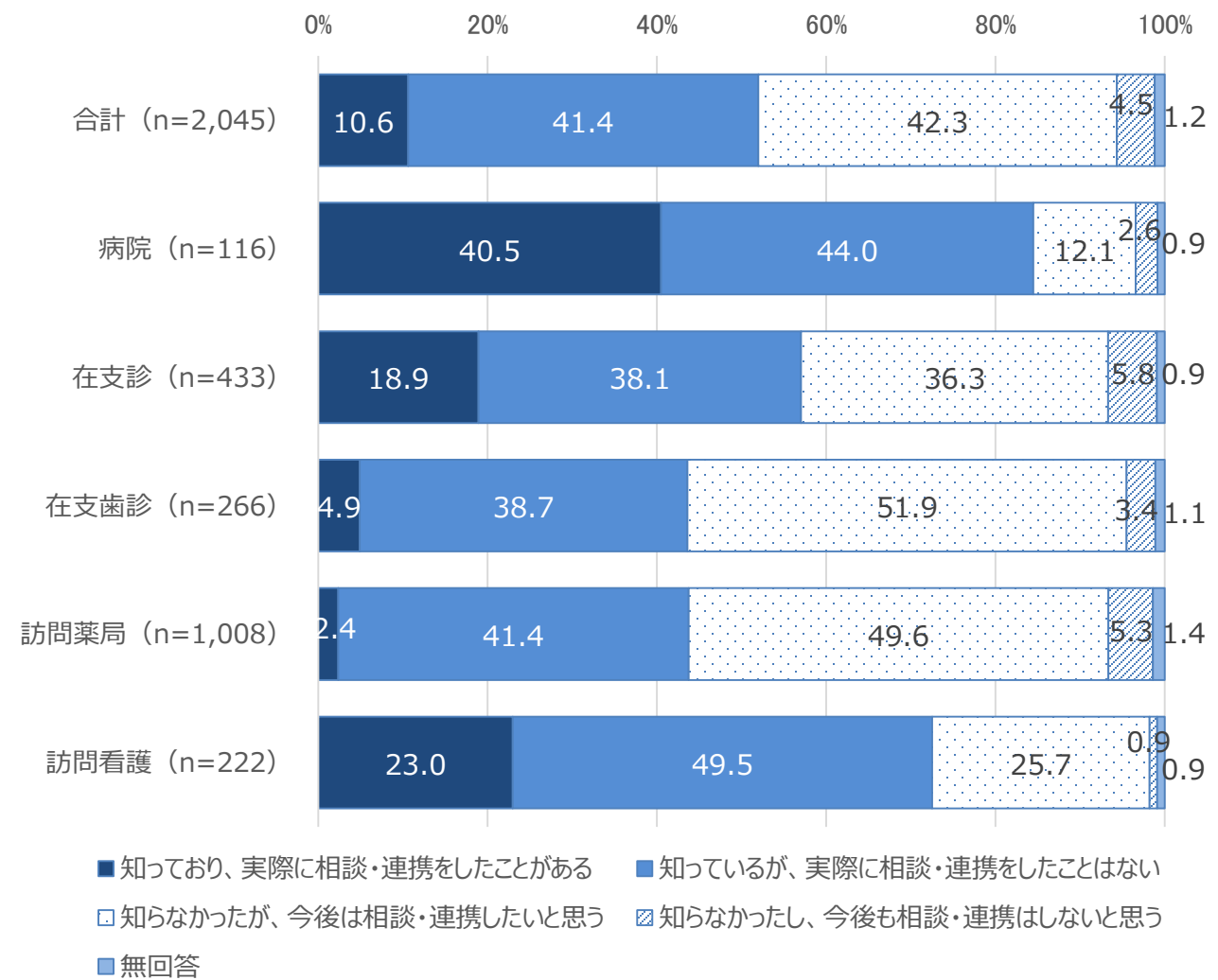
貴施設による在宅医療の取組みに関する今後の意向



・施設全体では、「現在の取組みを当面維持していきたい」が38.5%、約半数が「現在より充実していきたい」
 ・「現在より充実していきたい」の割合は、訪問看護、病院と訪問薬局、在支歯診、在支診の順

相談支援室

相談支援室についての認知と利用実績



・施設全体では、「知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う」、「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」、「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」、「知らなかったし、今後も相談・連携はしないと思う」の順
 ・「知っていた」と「知らなかった」では、「知っていた」割合がやや多い

貢献度

あなたの施設（事業所）は、地域の在宅医療の推進に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

今後の課題

【病院・訪問看護】

・在宅医療・介護連携の推進のためには、現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場が必要と感じている。

【在支診】

・在宅医療・介護連携の推進のために、負担の軽減が必要と考える割合が高く、今後の意向についても「現在の取り組みを当面維持」としている施設が最も多い。

【在支歯診】

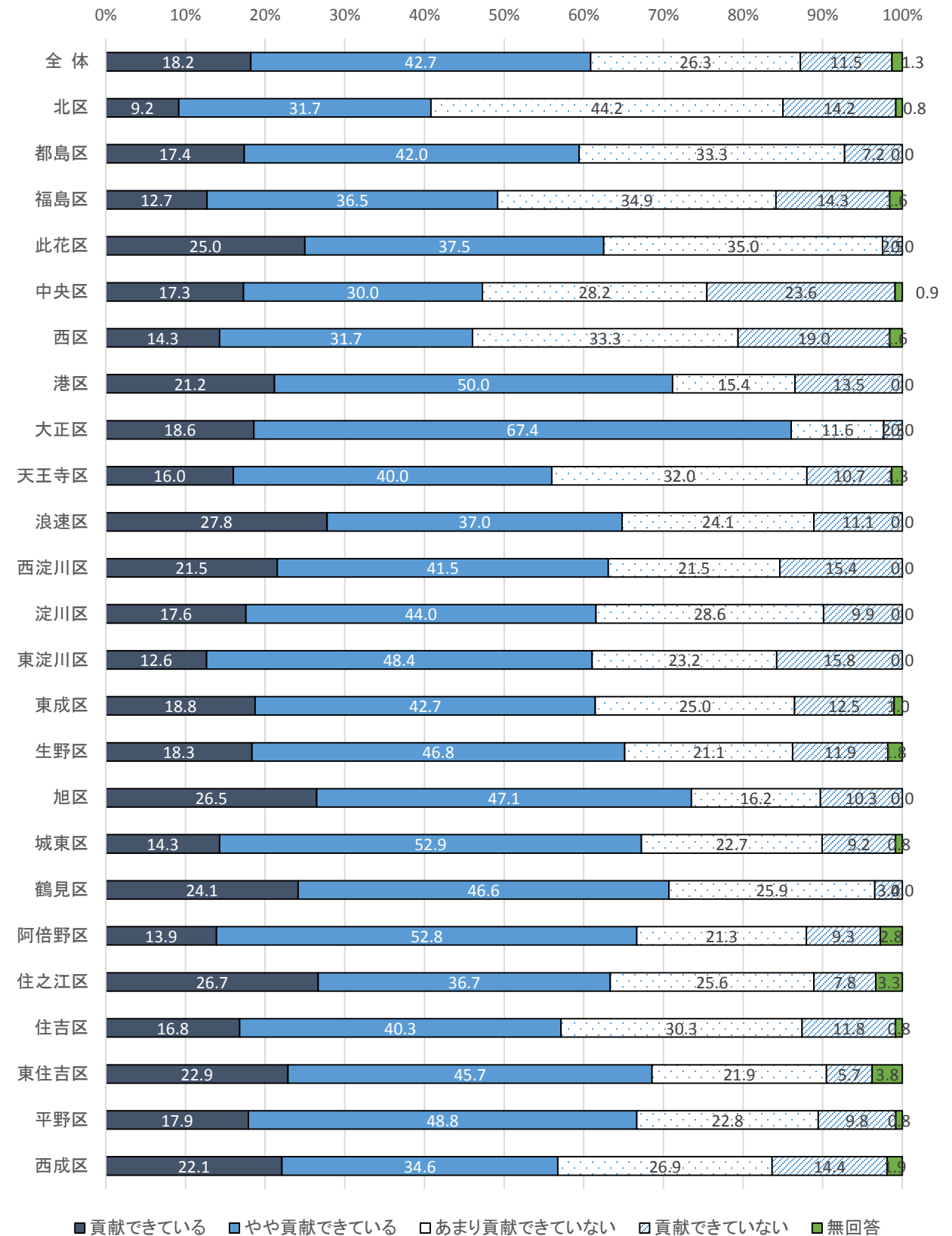
・退院前カンファレンスへの出席要請を求められる事が少なく、他施設側も連携度が低いと感じているが、退院前カンファレンスへの出席の意向は高い。

【訪問薬局】

・多職種研修会への出席、退院カンファレンスへの出席要請が少なく、貢献度、連携度が低くなっている。一方、退院前カンファレンスへの出席の意向は高い。

【施設全体】

・在宅医療・介護連携の推進のために患者・家族への普及・啓発が必要と考えている。



連携度

満足度

あなたの施設は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。

あなたはご自身の仕事に満足感を感じていますか

